

地域リーダーの声 Part.10

河原地域資源保全会(長門市)

代表 原田 忠久 (中央)
副代表 金子 博 (右)
書記 上野 靖児 (左)



農地・水保全管理支払交付金の対策について思う

5年前2m近いセイタカアワダチ草の放棄田があり、長い畦畔には小笹と雑木が茂っていたこの地域で、なんとか昔のきれいな水の流れる自然豊かな農村にしたいとの思いで、保全会を立ち上げて地域のみんで農業者任せにするのではなく、みんなで自分たちの住む環境を良くしていこうと取り組んできました。

今では、みんなが保全会の取り組みに感謝され、要望なども出され、老人から子供達も積極的に参加され、地域の中心的存在になって来ています。放棄田や畦畔にはコスモスが咲いたり・花蓮がきれいな花を咲かせて多くの人々が朝・夕の散歩道にしておられ、健康増進の一助にもなり、川にはメダカ・はや・うなぎがもどってきて、田んぼにはどじょう・タニシ・平家ホタルも見られるようになり、地域のみんがわいわいがやがやと話しながら作業したり、集会をするようになり八幡宮のお祭りも大変にぎやかになってきました。高齢者が大変多くなってきた今からは、このような国の事業がなくては農村の荒廃は進んでいくのではないのでしょうか。

今、農村に住んでいる人たちを励まし、後継者を育てていくにはこの事業を長く継続していくことが大切であり、また日本の農業をまもっていく道ではないかと思います。より多くの地域でこの事業に取り組み地域ぐるみでの連帯を深め支えあっていくためにもみんなでこの事業の継続を訴えていっていただきたいと思います。



平成 23 年度 農村環境の未来を考える研修会（山口大会）

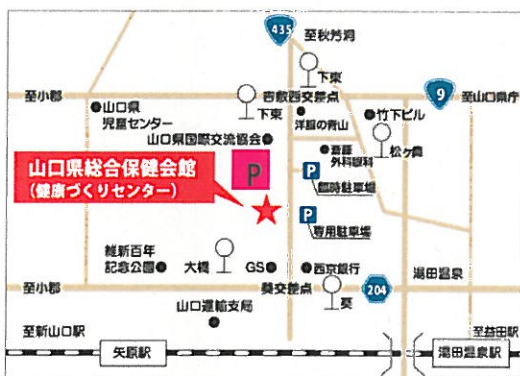
～自然ゆたかで活力のある農村地域を次世代につなげよう～

日時 平成 23 年 12 月 6 日(火) 13:30～16:00
会場 山口県総合保健会館 2F 多目的ホール



主催 山口県農地・水・環境保全向上対策協議会
共催 農林水産省中国四国農政局
定員 約 800 人 定員になりしだい締め切らせていただきます。
参加費 無料 どなたでもお気軽にご参加ください。

美しい農村地域は、人と自然との持続的な農業の営みによって形成されてきたかけがえのない資源です。この大切な資源を守り、将来に引き継ぐため、農業者だけでなく地域住民が一体となった積極的な活動が全国の多くの地域で取り組まれています。研修会では、活力ある農村地域づくりに取り組んだ農地・水保全管理対策「中国四国農政局長最優秀賞受賞」の3活動組織事例等（本年度、中国四国農政局管内において表彰される3活動組織を予定）を紹介し、本対策に取り組む多くの活動組織のステップアップを目的に開催します。



山口市仁保の田んぼアート（活動組織名 向上対策仁保）



大会プログラム

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 来賓紹介
- 5 情勢報告 食料・農業・農村をめぐる情勢について(予定)
- 6 活動組織事例発表・意見交換会
「中山間地域における地域と人をつなぐものとは」(中国四国農政局長最優秀賞受賞3活動組織ほか)
- 7 閉 会

編集・発行: 〒753-0079 山口市糸米二丁目 13-35 (水土里ネット山口 4F)

山口県農地・水・環境保全向上対策協議会 TEL 083-933-0755 Fax 083-933-0756

【山口県 農村整備課ホームページ】 農地・水・環境保全向上対策

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17500/noutimizu/hyousi.html>